



宮城県農政部農村振興課

9月号
2022 Vol.6

田水郷通信

◆ Topics

- ため池での事故防止を呼び掛け 動画公開中
- “沢尻の棚田” つなぐ 集落体制づくり支援 丸森町大張地域
- 田水郷コラム 憧れの「棚田キャンプ」



ため池での事故防止を呼び掛け 動画公開中

小学生以下の小児向けに、転落事故の絶えない「ため池」の危険性を具体的に説明し、事故を防止するためのルールを守るよう注意喚起する動画を公開しています。

この動画は撮影・編集・ナレーションなど全て宮城県農村振興課職員の手作りによるもので、お米や野菜を作るための水を供給する「ため池の役割」についても簡単に紹介しています。

本動画については、子供たちが外で遊ぶ機会が増える夏休みを前に、宮城県教育委員会と連携して県内の小学校へ一斉通知を行いました。

下記のURLまたはQRコードから動画（YouTube）を視聴することができますので、小学生以下のお子様がいるご家庭では、この機会にぜひ、事故を防ぐための「ためいけルール」を確認していただければと思います。

動画紹介ページ（農村振興課HP）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosons/hin/tameike-rule.html>

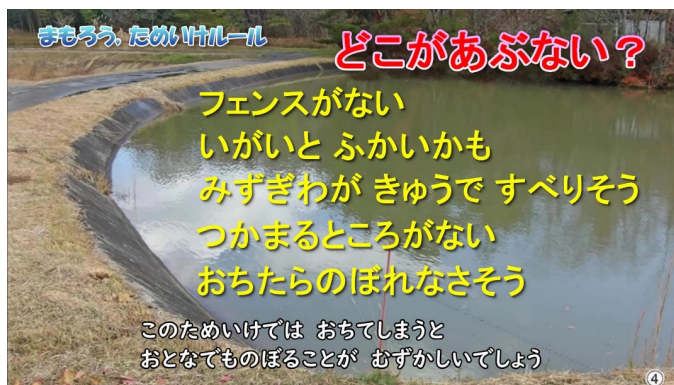
動画QRコード→



（宮城県広報課YouTubeチャンネル）



▲ため池事故防止動画タイトル画面



▲危険性を具体的に説明



▲ため池事故防止注意喚起チラシ

動画を利用した講習会が開催されました

令和4年7月15日、大崎市立大貫小学校において、ため池の危険性を呼び掛ける講習会が開催されました。

全校児童85名を対象に、主催した大崎市の職員から、大貫地区にはため池が50カ所以上あることや、“浮き”や“滑り止め金網”の実物を使って事故に遭った際の行動について説明がありました。その後スクリーンで動画を視聴し、より一層の注意喚起が図られました。



▲動画を視聴する大貫小学校の児童たち

“沢尻の棚田”つなぐ 集落体制づくり支援 丸森町大張地域

宮城県農政部農山漁村なりわい課では、高齢化や人口減少の著しい農山漁村地域において、集落の体制整備や人材育成を促進することを目的とした「農山漁村集落体制づくり支援事業」を実施しています。

丸森町大張地域では、つなぐ棚田遺産に認定されている“沢尻の棚田”を維持・発展させるとともに、地域を担う人材を育成・確保するための様々な取組が行われていますので、その一部をご紹介します。



▲大張地区沢尻の棚田



▲集落の方及び町，県，受託業者らがワークショップに参加

ワークショップ

集落の代表者と関係機関が集い、課題の掘り起こしや活動方針を検討するワークショップを定期的に行っています。一年を通して具体的な活動内容やスケジュール、役割分担等を決め、活動後は評価・振り返りを実施して次回以降の活動に繋がります。

棚田写真コンテスト

地域内外の人に棚田を知ってもらおうと、令和2年度から写真コンテストが開催されています。普段からカメラマンが訪れていることもあり、棚田が織り成す美しい景観が表現された作品が多数応募されました。

また、棚田近くの東屋には“棚田交換ノート”が設置され、棚田を訪れた人と集落の方々との交流が広がっています。



▲入賞作品の例（上）
棚田交換ノート（下）



▲四季折々の棚田の風景を切り取った作品が並び

地元高校生の体験学習

地元丸森町の伊具高校の体験学習の受け入れを行っています。この取り組みは学生の経験としてはもちろん、集落にとっても営農作業の人手を確保できるほか、担い手から高校生との交流がとても楽しいとの声上がるなど、双方にとって貴重なものとなりました。

また、活動を通して棚田に関心のある方との接点が増えたことで、棚田での活動自体の機運が高まっています。



▲伊具高校の学生がコンバインに搭乗



残暑も和らぎ、野外活動に最適な季節となりました。
空前のキャンプブームが到来する中、今注目を集めているのが「棚田キャンプ」です。

有効利用で保全を目指す

棚田は高低差が大きく区画が狭小のため、作業の効率化が難しい場合が多く、耕作放棄地になりやすい農地でもあります。

そこで、農閑期（オフシーズン）に何とかして棚田を有効活用し、その保全に繋げていこうという考えから取組が始まり、全国各地に広がっています。

絶景を満喫しながらキャンプ

棚田キャンプの最大の魅力は、やはりその景観にあります。「満天の星空と棚田で目覚める朝という特別な時間を味わえる」体験はキャンプ好きにとっても人気だそうです。なるべくシンプルに、自然を味わうキャンプスタイルが合いそうです。

ブームに乗っかり、キャンプ道具を買い集めながらフィールドを探している筆者のような方、要チェックです。



▲稲刈り後～田起こしまでの期間はオフシーズン



▲季節や時間帯によって色々な景色が楽しめる棚田



上・左の写真は本編で紹介した丸森町の
大張沢尻の棚田。新たな活用法として棚田
キャンプの実施が検討されています。

※左の写真は丸森町の元地域おこし協力隊が中心
となって、管理者の方から特別に許可を得てお試
しのキャンプを行っている様子です。（現在はま
だ）通常はキャンプができる場所ではないのでご
注意ください。

～宮城県農業農村整備関係部所一覧～

県庁農政部 農山漁村なりわい課 農山漁村調整班, 交流推進班 中山間振興班, 6次産業化支援班 農村振興課 指導班, 企画調整班, 地域計画班, 技術管理班, 広域水利調整班, 農村整備課 事業経理班, 換地・用地班, ほ場整備班 水利施設保全班 農村防災対策室 防災対策班, ため池対策班	022-211-2657 022-211-2861 022-211-2871 022-211-2875	県出先機関 大河原地方振興事務所 仙台地方振興事務所 北部地方振興事務所 北部地方振興事務所 東部地方振興事務所 東部地方振興事務所 気仙沼地方振興事務所 王城寺原補償工事事務所	農業農村整備部 農業農村整備部 農業農村整備部 栗原地域事務所 農業農村整備部 登米地域事務所 農業農村整備部 農業農村整備部 農業農村整備部 農業農村整備部	0224-53-3111 022-275-9111 0229-91-0701 0228-22-2111 0225-95-1411 0220-22-6111 0226-24-2121 022-345-5175
--	--	---	--	--

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/